

# 兼本ハイツ集会所 建設を伺う

答 採択されれば  
令和7年度からの事業実施である



西銘 多紀子 議員

**問** 兼本ハイツ集会所建設に  
対する補助や支援策の進捗状  
況を伺う。

**副町長** 補助金は自治総合セ  
ンターのコミュニティ助成事  
業、本町の自治会公民館建設  
等事業補助金の活用が考えら  
れる。自治会がコミュニティ  
助成事業補助金を令和6年度  
中に申請実施し、採択されれ  
ば令和7年度から事業実施と  
なる。

**問** 兼本ハイツ集会所の建設  
設計時と、実際の建設時の諸  
資材や建設コストの高騰に  
なった場合の町の考えを伺う。  
**副町長** 建設費用は、資材や

建設コストの高騰に関わらず  
コミュニティ助成事業の上  
限1500万円を建設費用か  
ら差し引いた額に対し本町か  
ら5分の3の補助(上限50  
00万円)を行うこととなる。

**※**  
認可地縁団体化への  
現状と課題を伺う

**問** 本町の自治会における認  
可地縁団体化への現状と課題  
を伺う。

**副町長** 東新川、神里、兼城の  
3団体が地縁団体であり課題  
については特にない。

※認可地縁団体法人格を得た自治区・自治  
会等のこと

**問** 本町が考える自治会の認  
可地縁団体化に対するメリッ  
ト、デメリットは何か。

**副町長** メリットとして自治  
会名義で不動産登記が可能で  
あり規約に定める範囲内で権  
利能力を持つ。デメリットと  
は考えてないが自治会による  
規約改正等を行った場合は町  
への手続が必要である。

**問** 自治会の認可地縁団体化  
のデメリットが少ない、また  
はない場合は自治会の認可地  
縁団体化について町として支  
援すべきではないか。

**副町長** 自治会が土地や建物  
等の不動産を所有し登記をす

る場合は、認可地縁団体とな  
ることが条件となる。そのた  
めの手続等の情報提供などを  
今後も同様に支援をしていく。

高齢化問題を伺う



各制度をまとめた福祉のしおり



**問** 高齢化が進むに当たり、  
高齢者が元気で住みよい町に  
するため本町の具体的なビ  
ジョンは何か。

**副町長** できるだけ介護を必  
要とせず、自立して活動でき  
る時間を一日でも長く続けら  
れるような高齢者が増えるこ  
とを目指す。若年期からの健  
康づくりの推進を図る。